



PERSPIRATION

2012 年

茨城大学陸上競技部 部誌

第 7 号

目次

I . 2012 年度シーズンを振り返って	2
II . 2012 年度活動報告	6
i) 大会後記	7
関東インカレ／千葉対校／関東甲信越／国公立 22 大学対校／日本インカレ／ 北関東五大学対校／三浜駅伝／荒川駅伝／勝田全国マラソン／国公立 22 大学対校駅伝	
ii) その他の主な競技会の結果	17
茨城県選手権／関東選手権・その他	
iii) その他の活動	18
審判・補助員／宇都宮大学・千葉大学・群馬大学・高崎経済大学合同合宿	
III . 2013 年度シーズンの抱負	19
IV . 2013 年度活動予定	22
V . 卒業・修了生より	23
VI . 0B/0G 近況報告・現役部員へのメッセージ	31
VII . 記録集	35
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2012 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII . 部員名簿	39
編集後記・連絡先	40

I. 2012 年度シーズンを振り返って

主将反省

前主将 伊藤太一

私は 2011 年度の北関東五大学対校陸上競技大会後に前主将のホアンから受け継ぎ、今年度の北関東五大学対校陸上競技大会後に現主将の谷貝に引き継ぎました。ホアンが泣きながらあいさつをしていた昨年、今年度その立場になり、その気持ちが少しですがわかったような気がしました。自分は何が出来るのかを考えた時に思い浮かんだことは「競技で盛り上げよう」でした。しかし、チームを盛り上げることはできず、自分の中でも満足することはできませんでした。茨城大学陸上競技部の主将として、自分には何が出来たのかは正直わかりませんが、多くのことを経験し学ぶことができ貴重な経験となりました。

今年度の目標として「挑戦！現状打破！！」を掲げ取り組んできました。この目標は、今までやらなかったことに挑戦し、できないと決めつけていた現状を打破し、生活面や競技力を向上し自己ベストを目指すチームになりたいと思い決めました。その中、今年度は関東インカレ、日本インカレに多くの選手が出場することが出来ました。また、対校戦においては 4 年次の活躍が光り、多くの 4 年次が自己ベストを更新し、元気をもらう事が出来ました。今年度は北関東五大学の主催校であり、準備や運営において多くの方に協力していただき無事開催することが出来ました。昨年先輩方が主催した 22 大学とは違い、自分たち 3 年次中心で行い大会を開催することの大変さを知ること、普段出場している大会とは違った経験をする事が出来ました。この経験から、対校戦をはじめとする大会には多くの方の協力があることを知り、感謝して競技に取り組むことが出来るようになったと思います。

この 1 年間、応援に来てくださる OB・OG の方々、陸上部の先輩、後輩、そして 3 年次の皆さんには多くの迷惑をかけてしまいました。そんな中、多くの助言や励ましありがとうございました。

これからは最高学年として自分に何が出来るのかを考え、茨城大学陸上競技部の一員として、ラストシーズン自己ベストを更新出来るように頑張りたいと思います。

主務反省

前主務 肥田瑩里枝

主務を引き継いだ当初は不安で仕方ありませんでしたが、やるからには最後までしっかりと取り組むと決めていました。主務を終えた時、自分はどれだけ成長できているのか楽しみでもあったし、どんなに大変でも失敗したとしても、最後には主務をやって良かったと心から思える一年間にしたかったためです。

この一年間は、本当に視野が狭くなっていたと感じました。仕事をこなすので精一杯になり、主務として何をすべきなのか、部活をどうしたいのか、ということを考える時間を作ることができていませんでした。もっと仕事を割り振ることが出来ていれば、主務の仕事、大会の運営についてスタッフ全体の理解が深まると同時に、自分の中に余裕をつくることができたと思います。五大の主催にあたっては、たった一つの大会が、こんなにも多くの人の協力によって成り立っているのだと身に染みて感じ、大会に参加する意識も変わりました。大会を終えた時の達成感は今でも忘れられません。

この一年間、いつも応援に来て下さる OB・OG の方々、茨城陸協や学連の方々、先輩・後輩、スタッフの皆には数え切れないほどたくさんお世話になりました。心が折れそうになった時もありましたが、未熟な私をサポートしてくれる多くの皆様がいたから最後までやり通すことができました。特にスタッフの皆には、迷惑をかけてしまうことが多かったように思います。それでも、いつも温かい言葉をかけてくれ、率先して手伝ってくれた皆は本当に頼りになりました。誰もが経験出来ることではない、この貴重な経験をすることができたのは、幸せなことだと思います。この経験を生かし、自分に何が出来るのかを考え行動したいです。残り一年、感謝の気持ちを忘れず、悔いの残らぬよう全力で駆け抜けます。本当にありがとうございました。

短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 伊藤太一

今年は1年次8名が短距離ブロックに入部し、大人数での活動となりました。今年の短距離ブロックの反省は、昨年と同様で怪我人を多く出してしまったことです。春先に怪我をしてしまい、苦しいシーズンを送った人もいました。なかでも、1年次の怪我、再発が目立ち、練習前後のケア、呼びかけ、状態の把握、怪我をしてからのアフターケアなどが不十分でした。

競技面に関しては、対校戦での得点源になる活躍を見せてくれたと感じています。しかし、毎年言われていますが、各種目で2番手、3番手の選手が現れていません。自分でブロック内での順位を決めてしまい、その位置で満足してしまい、チーム中での競争意識が無くなってしまったと思います。日本インカレにおいては男子1名、女子1名、女子のマイルチームが出場することが出来ました。リレーで日本インカレに出場したことはとても喜ばしいことで、チームとしても良い刺激になりました。自己ベストに関して考えてみると、半数以上の方が更新することができず、悔しいシーズンになりました。しかし、茨城大新記録が誕生したのは喜ばしいことでした。

競技面以外においては、怪我をしてしまった人に対するフォローが足りませんでした。何をしているのか、どういった状況なのか、どんな練習をしているのか把握することが出来ず、同じベクトルを向く事ができませんでした。ブロック全体でしっかりとコミュニケーションをとり、共通の目標を持つことで良い練習や良い結果に繋がっていくと思います。練習においても、ただこなすだけの練習ではなく、各々がしっかりと目的意識をもっていくことも大切なのだと感じました。

これからもリレーでインカレに出場できるように、部内、ブロック内で競い合い、切磋琢磨し練習を楽しみ、ブロッカー丸となって頑張っていきたいと思います。

中長距離ブロックの反省

前中長距離ブロック長 加藤俊介

今年度を振り返ると、昨年度と比べ少ない人数での活動になりました。その影響もあってか、対校戦での活躍が減ってしまったように思います。しかし、個人個人で見ると自己ベストを出した選手が多かったことが今シーズンの収穫だったと思います。

また、もうひとつのポイントとして、駅伝があげられます。22大駅伝で女子が久々の中長単独での出場となり、3位という結果を残しました。その反面、男子は人数が足りず出場が出来ないという結果になりました。この点はどうしようもないことではあるのですが、悔しいような物足りないように感じました。

来季は今年自己ベストを出すことができた選手はもちろん、ひとりひとりが成長し対校戦で戦える力をつけることが大切になると思います。そのためにいつ、どの試合に照準を合わせるかを考えて練習することがポイントになると思います。

跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 山口真未

今年度の跳躍ブロックの目標は、「競技力の向上と、大会での上位入賞」でした。ブロック全体を振り返ってみると、関東インカレ出場者が6名、日本インカレ出場者が4名と、着実に力をつけることが出来ました。関東インカレにおいては、4年次林田が5位、日本インカレにおいては、院1年次遠藤が優勝、3年次山口が8位と、学生対校の最高峰の大会で、チームに貢献出来た点は評価出来ると思います。

また各対校戦においても、得点源になれたのではないのでしょうか。特に女子は、リレーや他種目においても活躍してくれたと思います。そこで浮き彫りになったのは、男子の他種目における力不足です。メイン種目は上位で戦えるのですが、他大学のほうが一枚上手でした。

掲げた目標は高く、競技力を重視したものでしたが、根本的な「自分の殻を破る」といった点は、各々がクリア出来たのではないかと思います。声かけを常に行い、良い雰囲気のプロック作りを徹底出来たことが、その成功に繋がったのではないのでしょうか。学年の差を気にすることなく、思ったことを言い合える体制があるのが、跳躍ブロックです。このように、先輩方が築いてくださった跳躍ブロックの伝統をさらに良い方向へ導いていけるように頑張ります！

また、次期ブロック長は2年次がないということで、1年次の山内になりました。体制としては、院生、4年次、2年次に新入生が加わるといった、またもや上級生主体のプロックとなることが予想されます。今年度も、しっかりと声をかけ合い、みんなで作っていくブロックを目指して、精進していきます！

投擲ブロックの反省

前投擲ブロック長 星野千恵

投擲ブロックは、4月に1年次荒井と近藤、7月には2年次安田が加わり、総勢8名で活動してきました。種目に偏りはありますが、他の国立大学に比べるとメンバーが充実しており、また、個性豊かなメンバーが揃っていることもあり、日々の練習もにぎわいをみせていたと思います。

今シーズン、投擲ブロックには“日本インカレ出場者を出す”という大きな目標がありました。二見さん、弓削さんが卒業されてから後に続く者がなく、昨年は投擲だけが日本インカレ出場者を出せないという状況になってしまったことにブロックとして不甲斐なさを感じ、今年こそはという気持ちで向かえたシーズンでしたが、結果としては今年も日本インカレ選手を出すことなく終わってしまいました。しかしながら、自己ベストを大幅に更新し、円盤投で関カレ出場とハンマー投で学生個人出場を果たした4年次鈴木(香)、1年次ながら自己ベストを更新した近藤、関東インカレ入賞を果たした3年次小林、肘肩腰の怪我を乗り越え意地の61mをみせた4年次ホアン、投擲3種目デビューを果たした2年次安田、最後まで腰痛に悩まされながらも投げきった4年次辻、怪我に苦しみながらも挫折なかった1年次荒井…状況は様々ではありますが、誰もが試合を盛り上げました。大きな目標達成はなりませんでした。ブロック全体として昨年よりも日本インカレに近づけたかと思えます。

また、今年は投げの環境に大幅な変更があり、部員の皆様も戸惑ったことと思います。投擲が学校のグラウンドで投げるには危険が多く伴うため、部の協力なしでは練習ができないということを痛感いたしました。今後も安全面に配慮しながら陸上部としてよりよい環境づくりができるよう努めます。

今シーズンを振り返り、来年に向けて投擲ブロックに求めることは“貪欲さ”です。今まではそれぞれ技術にこだわりを持って取り組んできたことと思いますが、今のままでは限界がみえています。視野を広げ様々なところに働きかけ、貪欲に記録を求めていきましょう。現在、ブロック長は荒井へと引き継がれましたが、まだ1年次である上に荒井の性格上、少々頼りないところがありますので、そこはブロック全体でカバーをしつつ強くやさしく頼もしいブロック長に成長することを願っております。投擲の良さは元気の良さ！来年はより一層、メリハリをつけて明るく楽しく真剣に部活に取り組んでいましょう。

ハードルパート長の反省

前ハードルパート長 柴俊博

今年度は新たに2人の1年次がハードルパートに加わり、9人での活動となりました。パート長として何ができたかと考えると、自分自身ハードルの練習をすることも少なく、メニューも各々が自分で立てていく形をとっていたため、自分にできたことはメニューやコンディションの確認程度だったように思います。競技結果では、自己ベストを3名が更新し110mHの茨大記録も更新されました。また、対校戦でも一人ひとりが目標とする点数を取ることができ、チームに貢献できたと思います。

毎年パートの目標として怪我人を出さないことが挙げられますが、今年度も怪我人を出してしまったので、来年度こそ全員が怪我をすることなくレースに挑めるよう気を配っていきたいです。また、対校戦で得点に絡むという目標に関しては達成できたように思いますが、この結果に満足せず来年度は今年度以上の結果が出せるよう互いに刺激し合って、成長していきたいと思っています。

マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 石津美阿里

マネージャーブロックは、2年次1名、3年次2名、計3名での活動となりました。昨年度の部の活動方針でもある「挑戦！現状打破！」をどのような形で表現していくか常に模索している状態でした。マネージャー通信をきっかけに、部活動に目を向けながら、アンテナをたて、マネージャーからも様々なことを発信していこうと取り組んできました。私たちマネージャーのサポートが、選手のみなさんの競技力向上の手助けとなれたのかという自信はありませんが、普段の練習で声をかけていただいたり、試合で素晴らしいパフォーマンスを目にするたび、もっと力になりたい、何ができるのだろうと考え、マネージャーのモチベーションも高まりました。たくさんの反省をしっかりと行動に移せるよう、マネージャー同士で考えを深めていき、今後は新ブロック長萩野谷を中心に活動していきたいと思っています。今後もマネージャーブロックをよろしく願います。

日立ブロックの反省

前日立ブロック長 川部優太

私が今年一年日立ブロック長を務めさせていただいて、感じたことをそのまま述べたいと思います。

今年一年日立ブロック長として自分に出来たことというのは、ブロックの状況把握とブロックを盛り上げることくらいです。悪い意味ではなく、それだけ自立できていたブロックであると思います。それがいい方向に働いたこともあれば、悪い方向に働いたこともありました。メニューをただこなすだけでなく、考えながら練習できたこともあれば、一人での練習によって競り合う力が足りなくなってしまうこともあり、もっとブロックで集まって練習できていれば、と今更感じています。

昨年、ブロック長の抱負を述べたときに、日立ブロックだから、と言われないブロックにすることを挙げました。それが達成できたかと言われればそうではないと思います。それでも、日立ブロックで自己ベストが出たり、入賞したり、少しずつでも成長が見られたことは評価できることであると感じています。上から目線で申し訳ありません。

水戸住みの日立ブロック長でしたが、務めさせていただきありがとうございました。

今後の日立ブロックに期待してほしいと思います。

Ⅱ. 2012 年度活動報告

2012 年度活動報告

日程	競技会名	場所
5/12～13, 19～20	第 91 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場・日本大学陸上競技場（東京）
6/22～24	2012 日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場（神奈川）
7/5～7	第 66 回茨城県陸上競技選手権大会	ケーブデンキスタジアム水戸（茨城）
8/5	第 47 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉総合スポーツセンター陸上競技場（千葉）
8/11	茨城県陸上競技国体予選	ケーブデンキスタジアム水戸（茨城）
8/17～18	第 61 回関東甲信越大学体育大会	小瀬スポーツ公園陸上競技場（山梨）
8/24～26	第 85 回関東陸上競技選手権大会	正田醤油スタジアム（群馬）
8/28～30	第 27 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	仙台市陸上競技場（宮城）
9/9～12	第 81 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場・日本大学陸上競技場（東京）
9/14～15	第 23 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場・日本大学陸上競技場（東京）
10/5～9	国民体育大会	岐阜メモリアルセンター長良川競技場（岐阜）
10/27	第 63 回北関東五大学対校陸上競技大会	笠松運動公園陸上競技場（茨城）
12/2	第 67 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか（那珂湊）
12/16	第 14 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷（東京）
12/22～24	冬合同合宿	とちぎ海浜自然の家
1/27	第 61 回勝田全国マラソン	ひたちなか
2/16	第 10 回国公立 22 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園内（埼玉）
3/7	第 21 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム（水戸）
4/1～4/3	春合宿	小笠山総合運動公園エコパ（静岡）



関東甲信越大学体育大会

i) 大会後記

第91回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2012/5/12～13、5/19～20 国立競技場、日本大学陸上競技場：東京)

今年度も関東インカレは、東京の国立競技場で行われました。今年度は出場するメンバーも多く、様々な種目で活躍しました。昨年度に続き、3年次伊藤(太)が100m、200mで入賞し、主将としてチームを引っ張りました。また、4年次ホアンがやり投で5位入賞、4年次林田が走高跳で5位入賞、3年次小林がハンマー投で7位入賞と上級生が活躍しました。10000mで3年次黒澤、混成競技の100Hとやり投で3年次山口が自己ベストを出し、シーズン初戦の大舞台で実力を発揮しました。

今年度は関東インカレに出場するメンバーが増え、チームの力も少しずつレベルアップしています。多くの人が関東インカレで勝負することを目指し、これからも上を目指し練習していきましょう。(文責：逆井智也)

関東インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m 予選	10.60(+0.9)	伊藤 太一	
男子 100m 決勝	10.78(-1.6)	伊藤 太一	3位
男子 200m 予選	21.77(-1.3)	伊藤 太一	
男子 200m 決勝	21.58(+0.3)	伊藤 太一	4位
	22.33(-0.3)	滑川 智登	3位
男子 110mH 予選	14.84(+3.9)	星 耕平	
	15.41(+0.9)	本圖 理彦	
男子 110mH 準決	15.03(+0.4)	星 耕平	
男子 4×100mR 予選	42.67	川部・伊藤(太)・星・谷貝	
男子 4×100mR 準決	41.90	川部・伊藤(太)・星・柴	
男子 4×400mR 予選	3.25.20	星・川部・柴・江口	
男子 棒高跳 決勝	4m20	青柳 達也	12位
男子 走幅跳 決勝	6m98(+3.4)	逆井 智也	13位
男子 円盤投 決勝	37m38	ホアン テ ウェン	11位
男子 ハンマー投 決勝	46m91	小林 朋寛	7位
男子 やり投 決勝	61m61	ホアン テ ウェン	5位
	56m26	近藤 顕二	12位
女子 100m 決勝	12.31(+0.7)	鈴木 麻理	2位
女子 200m 決勝	25.29(-2.1)	鈴木 麻理	1位
女子 5000 決勝	16.56.12	黒澤 夏楠	20位
女子 10000m 決勝	35.08.39	黒澤 夏楠	15位
女子 4×100mR 予選	48.88	酒井・肥田埜・山口・林田	
女子 4×400mR 予選	3.59.02	肥田埜・林田・小島・山屋	
女子 走高跳 決勝	1m65	林田 麻由	5位
女子 走幅跳 決勝	5m40(+0.7)	吉原 友理	18位
女子 三段跳 決勝	11m48(+1.9)	遠藤 園子	1位
女子 円盤投 決勝	37m75	鈴木 香織	17位
女子 ハンマー投 決勝	43m31	鈴木 香織	12位
	36m78	星野 千恵	18位
女子 七種競技 決勝	4159点	山口 真未	11位

第 47 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦

(2012/8/5 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場：千葉)

本大会は、昨年に引き続き、2年連続千葉大学主催で行われました。入部したての1年次や、関東インカレに出場していない者にとっては開幕戦となる大会です。男女そろっての総合優勝を目指し挑みました。会場に駆け付けてくださったたくさんのOB・OGの応援も背中を押し、今年も茨城大学から数多くの優勝者を出すことができました。中でも、短距離種目、リレー種目において4つの大会新記録が生まれたことは大変喜ばしい結果でした。目標としていた記録には及ばなかった者もいましたが、結果として、男女総合優勝を果たすことができました。8月の連戦の幕開けとして、チームに勢いがついた大会となりました。

来年度の大会は、3年ぶりの茨城開催となります。来年は、男女総合優勝と主催大会の成功を目指し、チーム一丸となって頑張っていきます。(文責：鈴木香織)

千葉対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	10.93(0.0)	伊藤 太一
男子 200m	22.00(-0.3)	伊藤 太一
男子 800m	2.03.01	加藤 俊介
男子 1500m	4.12.16	加藤 俊介
男子 110mH	15.18(-0.6)	星 耕平
男子 400mH	55.44	星 耕平
男子 4×100mR	42.09	伊藤(林)・伊藤(太)・星・滑川
男子 4×400mR	3.29.15	川部・滑川・星・柴
男子 棒高跳	4m30	青柳 達也
男子 走幅跳	6m98(+0.6)	逆井 智也
男子 三段跳	13m44(+0.6)	逆井 智也
男子 砲丸投	11m91	ホアン テ ウェン
男子 円盤投	39m71	ホアン テ ウェン
男子 やり投	57m56	近藤 顕二
女子 100m	12.69(-1.9)	鈴木 麻理
女子 200m	25.46(-0.8)	肥田 埜里枝
女子 400m	1.00.48	小島 恵梨香
女子 4×100mR	48.68	酒井・鈴木・林田・肥田埜
女子 4×400mR	3.55.13	小島・林田・鈴木・肥田埜
女子 走高跳	1m65	林田 麻由
女子 砲丸投	9m70	鈴木 香織
女子 円盤投	36m59	鈴木 香織
女子 やり投	36m83	山口 真未



小島(400m)



星野(砲丸投)

第 60 回関東甲信越大学体育大会

(2012/8/17~18 小瀬スポーツ公園陸上競技場：山梨)

第 60 回関東甲信越大学体育大会が山梨県小瀬スポーツ公園陸上競技場で開催されました。雷の影響で競技が一時中断することがありましたが、チームで声を掛け合いながら集中力を切らすことなく競技に臨むことができたと思います。その中でも、3 年次伊藤(太)が 100m, 200m の二冠達成、4 年次林田の走高跳優勝という活躍が素晴らしいものでした。結果は男子総合 3 位、女子総合 4 位でした。周囲の大学から良い刺激をたくさん受けたので、来年度も一層力を入れ、盛り上がっていきたいです。

(文責：木村世奈)

関甲信結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.60(-1.2)	伊藤 太一	1 位
男子 200m	21.77(-0.1)	伊藤 太一	1 位
男子 1500m	4.07.40	加藤 俊介	5 位
男子 走高跳	1m75	堀越 成志	7 位
男子 棒高跳	4m10	青柳 達也	5 位
	4m10	沖崎 一也	6 位
男子 三段跳	13m72(-2.2)	逆井 智也	7 位
男子 砲丸投	12m27	ホアン テ ウェン	5 位
男子 円盤投	40m83	ホアン テ ウェン	2 位
男子 やり投	57m98	近藤 顕二	3 位
男子 ハンマー投	45m24	小林 朋寛	2 位
女子 200m	25.46(-0.8)	肥田埜里枝	4 位
女子 400m	57.22	肥田埜里枝	3 位
女子 3000m	10.02.55	黒澤 夏楠	4 位
	10.32.21	大貫 綾子	6 位
	10.35.41	木村 世奈	7 位
女子 4×100mR	48.95	酒井・肥田埜・小島・林田	4 位
女子 走高跳	1m70	林田 麻由	1 位
女子 走幅跳	5m32(0.0)	吉原 友理	7 位
女子 砲丸投	9m98	鈴木 香織	6 位
	8m80	星野 千恵	8 位
女子 円盤投	38m33	鈴木 香織	3 位
	37m30	星野 千恵	5 位
女子 やり投	38m53	山口 真未	2 位
	34m05	鈴木 香織	5 位



伊藤(表彰)



林田(表彰)

第 27 回国公立 22 大学対校陸上競技大会

(2012/8/28~30 仙台市陸上競技場：宮城)

今年度の第 27 回国公立 22 大学対校陸上競技大会は 8 月 28 日から 3 日間、東北大学を主催校として宮城野原公園総合運動場の仙台市陸上競技場で行われました。今大会は、女子は総合優勝、男子は総合 3 位以内を目指して試合に臨みました。残暑の厳しい仙台的地で、多くの者が自己ベスト更新や茨大五傑入りを果たすなど、ベストパフォーマンスを見せました。優秀選手賞を院 2 年次鈴木(麻)・院 1 年次遠藤が受賞したほか、男子のフィールドが 2 位につけるなど、素晴らしい活躍でした。結果は、女子は 2 年ぶりの総合優勝、男子は総合 3 位であり、目標としていた順位を獲得することができました。男女とも、昨年度の大会の雪辱を晴らすことのできた大会でした。来年度はさらに上のレベルを目指してほしいです。(文責：鈴木香織)

22 大学対校結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.85(-1.5)	伊藤 太一	2 位
男子 200m	21.46(-0.5)	伊藤 太一	2 位
男子 1500m	4.08.27	加藤 俊介	8 位
男子 110mH	15.42(-0.7)	星 耕平	6 位
男子 4×100mR	41.66	伊藤(林)・伊藤(太)・星・滑川	2 位
男子 4×400mR	3.20.23	柴・滑川・福田・川部	4 位
男子 棒高跳	4m40	青柳 達也	3 位
	3m90	沖崎 一也	7 位
男子 走幅跳	7m08(+2.6)	逆井 智也	8 位
男子 三段跳	13m72(-2.2)	逆井 智也	7 位
男子 砲丸投	11m66	ホアン テ ウェン	5 位
男子 円盤投	38m41	ホアン テ ウェン	3 位
男子 やり投	60m59	ホアン テ ウェン	2 位
	58m69	近藤 顕二	5 位
男子 ハンマー投	47m06	小林 朋寛	3 位
女子 100m	12.53(0.0)	鈴木 麻理	1 位
	13.18(0.0)	酒井くるみ	6 位
女子 200m	25.19(-2.9)	鈴木 麻理	1 位
	25.35(-2.9)	肥田埜里枝	2 位
女子 400m	57.59	肥田埜里枝	3 位
女子 1500m	4.47.10	黒澤 夏楠	5 位
女子 5000m	17.24.40	黒澤 夏楠	2 位
	18.42.37	木村 世奈	6 位
女子 100mH	15.65(-0.5)	山口 真未	8 位
女子 4×100mR	47.77	酒井・鈴木・山口・肥田埜	2 位
女子 4×400mR	3.52.62	肥田埜・林田・酒井・鈴木	3 位
女子 走高跳	1m62	林田 麻由	2 位
	1m59	山口 真未	3 位
女子 棒高跳	3m20	山内 裕香	2 位
女子 走幅跳	5m61(+0.5)	吉原 友理	3 位
女子 三段跳	12m26(-0.4)	遠藤 園子	1 位
	11m47(+1.3)	林田 麻由	4 位
女子 砲丸投	9m68	鈴木 香織	6 位
女子 円盤投	39m48	鈴木 香織	2 位
	37m22	星野 千恵	3 位
女子 ハンマー投	42m72	鈴木 香織	1 位
	38m52	星野 千恵	3 位
女子 やり投	40m28	山口 真未	3 位
	39m81	遠藤 園子	4 位

第 81 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2012/9/9～12 国立競技場、日本大学陸上競技場：東京)

今年度は、男子1名(3年次伊藤(太))、女子8名(院2年次鈴木(麻)、院1年次遠藤、4年次小島、林田、3年次黒澤、肥田埜、山口、1年次山内)の出場でした。リレー種目において、女子4×400mRで標準記録を突破し、例年に比べると大勢でのエントリーとなりました。

院2年次鈴木(麻)は、200mにおいて惜しくも決勝を逃しましたが、3年連続出場という輝かしい成績を残し、女子のエースとして部を引っ張ってくれました。4年次の林田は念願の個人出場を果たし、大舞台でベストに近いパフォーマンスをするなど、本番に強い彼女らしさが光る大会となりました。唯一男子1名出場の3年次伊藤と、3年連続出場の3年次黒澤は、その力と経験値から共に好記録が期待されていましたが、ベストには届かず悔しい結果となりました。1年次で出場を果たした山内は、経験としてはよい試合となったのではないのでしょうか。来年度以降の飛躍に期待がかかります。女子4×400mRには、林田－鈴木(麻)－肥田埜－小島のオーダーで出場し、見事あの舞台で茨大新を樹立することができました。「リレーはチームの顔」という言葉のもと、今年度の女子の飛躍を象徴するものとなりました。特に4年次小島の飛躍は著しく、最高学年としての責任を感じられる大会となりました。

また、今年度は2名の入賞者が輩出されました。院1年次遠藤は、日本インカレに向けて着実に力をつけていき、大幅なベスト更新で優勝を果たしました。試合内容もアベレージが高く、評価出来るものだと本人も振り返っています。3年次山口は、昨年度に引き続き8位入賞を果たしました。順位の殻を破ることがラストシーズンの課題になりそうです。

エントリー人数が増えたり、リレー種目で出場を果たすなど、茨城大学陸上競技部が力をつけてきているのは確かです。来年度も一人でも多くの日本インカレ出場者を輩出し、さらに元気のあるチームに成長できるよう、今後もチーム一丸となって頑張っていきます。(文責：山口真未)

日本インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m 予選	10.84(-1.4)	伊藤 太一	
男子 200m 予選	21.48(+0.9)	伊藤 太一	
男子 200m 準決	21.59(+0.1)	伊藤 太一	
女子 100m 予選	12.40(-2.1)	鈴木 麻理	
女子 200m 予選	25.01(+1.5)	鈴木 麻理	
女子 200m 準決	25.27(-0.1)	鈴木 麻理	
女子 10000m 決勝	36.32.50	黒澤 夏楠	
女子 4×400mR 予選	3.49.50	林田・鈴木・肥田埜・小島	
女子 走高跳 決勝	1m69	林田 麻由	
女子 棒高跳 決勝	NM	山内 裕香	
女子 三段跳 決勝	12m63(-0.3)	遠藤 園子	1位
女子 七種競技 決勝	4873点	山口 真未	8位



遠藤(三段跳)



第 63 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2012/10/27 笠松運動公園陸上競技場：茨城)

今年度の第63回五大学対校戦は、震災の被害から1年半ぶりに復旧した笠松運動公園陸上競技場にて開催されました。今大会は、茨城大学主催で開催され、大会の運営にあたっては、茨城陸協の方々をはじめ、OB・OG、高校生、他大学の方々など、多くの方々にご尽力いただきました。

前回の第62回大会では男女総合優勝を果たしており、今大会も男女総合優勝を目標に掲げ、ホームでの試合という条件を追い風にして、試合に臨みました。結果は、女子優勝、男子は群馬大学に次いで2位と男女総合連覇はなりませんでしたが、他大学との切磋琢磨の中で得たものは大きく、この悔しさを来年へと生かしていきたいと思えます。

今大会は、4年次、院2年次が引退し、運営面でも新体制へ移行していく節目の大会です。4年次や院生の活躍や存在の大きさを改めて実感すると同時に、今シーズンを通して、力をつけてきた在校生の活躍も見られ、来年度へ弾みをつけて締めくくることができた大会でありました。(文責：山屋瑛美)

五大学対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	10.57(+2.3)	伊藤 太一
男子 200m	21.49(+2.6)	伊藤 太一
男子 110mH	15.10(+2.5)	星 耕平
男子 4×100mR	41.88	伊藤(林)・伊藤(太)・星・滑川
男子 走幅跳	7m13(+2.7)	逆井 智也
男子 三段跳	13m87(+1.6)	逆井 智也
男子 やり投	56m36	近藤 顕二
女子 100m	12.44(+1.2)	鈴木 麻理
女子 200m	25.07(+1.8)	肥田栞里枝
女子 400m	58.15	肥田栞里枝
女子 1500m	4.53.49	黒澤 夏楠
女子 3000m	10.09.18	黒澤 夏楠
女子 100mH	15.08(+1.9)	山口 真未
女子 400mH	1.05.79	小島恵梨香
女子 4×100mR	48.36	遠藤・鈴木・林田・肥田栞
女子 走高跳	1m65	林田 麻由
女子 走幅跳	5m60(+4.4)	吉原 友理
女子 三段跳	11m75(+2.2)	遠藤 園子
女子 やり投	38m29	山口 真未



福田(4×400m)



第 67 回三浜駅伝競走大会

(2012/12/2 ひたちなか)

茨城大学からは、男子 1 チーム 6 名、茨城大常盤なでしこ混成 A・B から女子 4 名が出場しました。

男子チームは、昨年度と比べチームとして大きな課題を突き付けられた駅伝でした。その一方で、今年度参加した女子メンバーは、各チームで、活躍を見せてくれました。

長距離のメンバーが少ない中での先輩方の協力あつてのレースであり、OB・OG の方も見に来てくださっていたので、男子はもう少し奮った姿を見せられれば良かったと思います。

選手以外の部員のサポートも速報タイム、応援、場所移動など広く行き届いており、選手も非常に走りやすい環境の中で、自分のレースに集中することができました。

地元開催ということで、地域の方や駅伝参加者の方々に茨城大学をアピールしつつ、来年度は今年度よりも良い結果を目指して努力していきたいと思います。(文責：金田祐輔)

三浜駅伝結果(33.9km) 一般男子 4 位

	1 区(6.1km)	2 区 (7.5km)	3 区 (3.3km)	4 区 (6.8km)	5 区 (4.5km)	6 区 (5.7km)
氏名	加藤 俊介	富井 一仁	佐々木一樹	金田 祐輔	浅川 暁	齋藤 圭介
区間	19.10	24.06	11.52	23.03	15.26	19.16
順位	(区間 2 位)	(区間 3 位)	(区間 5 位)	(区間 4 位)	(区間 5 位)	(区間 4 位)
総合	19.10	43.16	55.08	1.18.11	1.33.37	1.52.53

女子連合チーム A

	1 区(6.2km)	2 区 (5.1km)	5 区 (3.1km)
氏名	木村 世奈	大貫 綾子	黒澤 夏楠
区間	22.38	18.21	9.52
順位	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 1 位)

女子連合チーム B

	5 区(3.1km)
氏名	永瀬麻梨凜
区間	12.57
順位	(区間 4 位)



浅川(5区)



中長距離 女子

第 13 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2012/12/16 荒川河川敷：東京)

この大会には、男子対校の部 1 チーム出場しました。オーダーは 1 区から、富井、浅川、加藤、金田、佐々木、齋藤で臨み、合計タイムは 2 時間 28 分 40 秒で 24 位でした。今回は、前半区間に実力のある選手を配置して、他のチームと競れる順位で後半区間へ繋いでいくという区間配置でした。しかし、多くの選手が目標としていたタイムに及ばず、また順位も伸び悩む結果となりました。その後の反省では、練習面の反省もちろん、他にも全員で練習する機会がなく、個人のモチベーション低下や、チームとしてのまとまりきれなかったことなど、練習面以外の反省点もあがりました。(文責：齋藤圭介)

荒川駅伝結果 (42.195km) 総合順位 24 位

	1 区 (10km)	2 区 (3km)	3 区 (8km)	4 区 (8km)	5 区 (5km)	6 区 (8.195km)
氏名	富井 一仁	浅川 瞭	加藤 俊介	金田 祐輔	佐々木一樹	齋藤 圭介
区間	33.08	9.50	27.42	29.09	18.31	30.20
順位	(区間 15 位)	(区間 21 位)	(区間 21 位)	(区間 28 位)	(区間 35 位)	(区間 24 位)
総合	33.08(15 位)	42.58(15 位)	1:10.40(17 位)	1:39.49(20 位)	1:58.20(23 位)	2:28.40(24 位)



加藤 (3 区)



齋藤 (5 区)



集合写真

第 61 回勝田全国マラソン

(2013/01/27 ひたちなか)

1月27日に第61回勝田全国マラソンがひたちなか市で開催されました。フルマラソンには毎年恒例となっている院2年次と4年次が出場しました。

風のない快晴のもと、それぞれのペースでスタートしました。そのほかの部員は5kmごとに応援場所へ移動し、選手に声援を送りました。出場された先輩方から、42kmは長かった、苦しかったけれどまた走りたいなど、様々な感想を聞くことができました。また、大会に出場されたOB・OGの方々とも交流できた良い機会となりました。(文責：木村世奈)

勝田全国マラソン結果

男子フルマラソン 39歳以下 (3693人中)					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
富井 一仁 (4)	02:43.01	60	ボソ テウエン (4)	06:48	完走
浅川 暁 (4)	04:49.06	2295	滑川 智登 (M2)		
青柳 達也 (4)	05:27.50	3193	南部 智彦 (4)		
逆井 智也 (4)	05:47.06	3468	栗原 航介 (4)		
女子フルマラソン 39歳以下 (565人中)					
辻 はるか (4)	04:47.18	324	鈴木 香織 (4)	05:43.18	523
林田 麻由 (4)	04:59.35	372	吉原 友理 (4)	05:46.40	512
小島恵梨香 (4)	05:41.24	511	鈴木 麻理 (M2)		
女子10Km 39歳以下 (1111人中)					
木村 世奈 (3)	38.08	6			



勝田マラソン集合写真

第 10 回国公立 22 大学対校駅伝大会

(2013/2/16 熊谷スポーツ文化公園内：埼玉)

第 10 回国公立 22 大学対校駅伝大会が埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園で開催され、女子が出場しました。

結果は女子総合 3 位でした。目標であった 2 位には届きませんでした。チームとして出場できたことで個人のこれからの課題だけでなく、チーム全体の課題を見つける事が出来ました。

気温が低く、強風の中での大会となりましたが、部員の皆からの大きな声援はとても力強く感じられました。部員全員で大会に臨む事が出来ました。(文責：木村世奈)

22 大学対校駅伝結果 (16.62Km) 総合順位 3 位

	1 区 (5.17km)	2 区 (3.14km)	3 区 (3.14km)	4 区 (5.17km)
氏名	木村 世奈	大貫 綾子	永瀬 麻梨凜	黒澤 夏楠
区間	18.59	11.44	13.42	17.53
順位	(区間 3 位)	(区間 3 位)	(区間 7 位)	(区間 1 位)
総合	18.59	30.43	44.25	1:02.18

ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2012) 8位入賞者

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.87(-2.0)	伊藤 太一	2位
男子 200m	21.79(+3.8)	伊藤 太一	2位
男子 110mH	15.15(-1.4)	星 耕平	5位
男子 5000m	15.40.56	加藤 俊介	7位
男子 4×100mR	41.62	伊藤(林)・伊藤(太)・山田・滑川	1位
男子 棒高跳	4m10	青柳 達也	7位
男子 走幅跳	7m02(+1.0)	逆井 智也	3位
男子 三段跳	14m24(+0.7)	逆井 智也	4位
男子 やり投	55m44	近藤 顕二	7位
	54m36	荒井 啓輔	8位
女子 100m	12.47(-1.9)	鈴木 麻理	1位
女子 1500m	4.46.88	黒澤 夏楠	5位
女子 5000m	17.30.00	黒澤 夏楠	5位
	18.28.45	木村 世奈	8位
女子 10000m	38.49.32	木村 世奈	1位
女子 100mH	15.50(-0.1)	酒井くるみ	4位
女子 400mH	69.48	畠山 明子	7位
女子 4×100mR	47.84	酒井・鈴木・山口・肥田埜	1位
女子 4×400mR	3.53.70	小畠・林田・鈴木・肥田埜	1位
女子 走高跳	1m69	林田 麻由	3位
女子 棒高跳	3m52	山内 裕香	1位
女子 砲丸投	10m20	鈴木 香織	8位
女子 円盤投	41m49	鈴木 香織	2位
	36m89	星野 千恵	5位
女子 ハンマー投	44m62	鈴木 香織	4位
	40m71	星野 千恵	5位

その他の競技会(入賞者のみ記載)

大会名	日時	種目	記録	氏名	順位等
関東選手権	8/24	女子 10000m	40.09.36	木村 世奈	4位
東北選手権	8/18	女子 三段跳	11m85(+1.2)	遠藤 園子	2位
宮城県選手権	7/14	女子 三段跳	11m77(+0.8)	遠藤 園子	1位

iii) その他の活動

協力審判員

茨城大学陸上競技部は、競技者として活動するだけではなく、協力審判員としても陸上競技に携わっています。昨年度は東日本大震災の影響で開催されなかった笠松スポーツフェスティバル陸上記録会が今年度は開催されました。また、関東甲信越大学体育大会などを始めとして県外の競技会にも協力審判員として活動しています。

協力審判員の活動では、単に競技者の立場からは知り得ない陸上競技の知識を、五感を通して体得することができました。さらには、競技が多くの審判員を中心とした人の支えなしには進行していかないことも改めて気づくことができました。今後も協力審判員を行い、競技者としても成長していきたいと思えます。(文責：谷貝脩平)

主な審判員活動の内容

跳躍審判, 投擲審判, 監察員, 周回記録員, 風力計測員, 写真判定員, 記録員, 競技者係, 出発係, 光波計測員

2012年度審判補助員活動一覧

月日	大会名
4/7	リレー選手権
5/3	中学記録会
6/2	中学記録会
6/9	中学記録会
6/17	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
6/17	第2回日立記録会
6/30, 7/1	全日本中学通信陸上競技大会
7/7	茨城県選手権大会
7/15	総合体育大会陸上競技大会
8/17, 18	関東甲信越大学体育大会
8/29	第27回22大学対校陸上競技大会
10/21	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会

冬合同合宿

12月22日～24日にかけて、笠松運動公園、大洗サンビーチ、とちぎ海浜自然の家にて冬合宿が行われました。1日目は悪天候ながらも、高校生を交えての合同練習を行い、2日目はブロックごとに、施設の坂やプール、砂浜を利用した練習、3日目はエンドレスリレーを行うなど、普段とは異なる環境、メンバーに刺激を受けつつ、充実した練習を積むことができました。今年は、茨城大学、宇都宮大学、千葉大学の3大学に加えて、群馬大学、高崎経済大学からの参加もあり、練習や寝起きを共にする中で交流を深める良い機会となりました。今回参加した大学は対校戦で戦う機会も多くあります。合宿を通して、互いに競い合い、情報交換をすることで、競技力向上につながる有意義な時間を過ごすことができたのではないかと思います。

(文責：山屋瑛美)

Ⅲ. 2013 年度シーズンの抱負

主将抱負

主将 谷貝脩平

昨年度の五大学対校戦後に、前主将の伊藤から主将を引き継ぎました。今年度の陸上競技部の活動方針として、「自律」を核に、競技力向上・人間的成長を定めました。自分自身で考え、行動に移し、その行動結果に自分で責任を持つことは、大学生の時期に身につけて欲しいと思います。そのためには、普段からどうすれば自分をより向上させることができるのかを考えていく必要があります。つまり、目標を明確にしてその目標に突き進んでいくハングリー精神を持ち続けることが大事だと思います。そして、ハングリー精神を維持していくためにも、陸上競技を心から楽しみ、充実していると部員一人一人が実感できるような土壌を作っていきたいと思います。

主将を務めて5ヶ月が経とうとしています。まだ、部を運営するに当たってどうしたよいか戸惑う場面も多々ありますが、常に一歩先を読んで行動していくことを心がけたいと思います。そして、茨城大学陸上競技部とともに一緒に成長していきたいと思っています。

今年度は、千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦の主催校となっております。OB・OGの方々にはお世話になると思いますが、精一杯頑張りますので何卒お願い申し上げます。

主務抱負

主務 安田萌

主務を引き継ぎ4ヶ月が経ちました。幹部という立場になり部の運営の難しさを感じています。主務として部員全員が競技を楽しみ、競技力向上ができるよう先生方、スタッフ、部員のみなさんと情報交換やコミュニケーションをとりながら、運営に携わります。

また、今年度は千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦の主催です。主催にあたり、様々な困難もあると思いますが、スタッフ一同、成功するよう全力を尽くします。これまでの伝統を受け継ぎ、良い大会にできるよう努めたいと思います。OB・OGの方々には、大変お世話になると思いますが、ご協力よろしく願いいたします。

至らない点も多々あると思いますが、運営面・競技面共に精一杯取り組んでいきますので、1年間よろしく願いいたします。

短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 星耕平

今年の短距離ブロックの目標は、「22 大全種目入賞」と「リレーで日本インカレ出場」です。この目標を達成するために、一人ひとりが競技力向上というテーマに真剣に向き合い、考え、実行するというプロセスを実現していくことが重要です。今、自分の競技力向上には何が必要かを常に考え、練習に取り組んでいき、チームの起爆剤としての短距離ブロックになれるように、練習・試合を盛り上げていきたいです。

今年の陸上競技部の活動方針は「自律」です。上記の目標達成には、個人というミクロのレベルでの自立はもちろんのこと、短距離ブロックや、陸上競技部というマクロなレベルでの自立ということが不可欠です。大学生らしい陸上競技者として、さらに自立した競技者集団として、まず短距離ブロックが模範となるような活動をしていきたいです。

中長距離ブロック長の抱負

中長距離ブロック長 大貫綾子

中長距離ブロックはだんだん人数が多くなってきました。ひとりひとりが頑張れるようなブロックを目指したいと思っています。お互い切磋琢磨しあい、目標に向かっていけるブロックでありたいです。最初にも述べたように、人数も増えてきましたが、対校戦でもチームに貢献できるような力をつけられるよう、目標をしっかりとって、ブロックでしっかりと共有していきたいです。また、駅伝という大切な試合もあります。駅伝ではチームの力が問われると思います。トラックシーズンを終えたあと、駅伝でもしっかりと戦えることができるよう、一回り強くなっていれるよう、しっかりと先も見据えていきたいです。大きな目標としては、今シーズンブロック員、全員が納得のいく結果をだすことです。みんなが強くなる！そんな環境をつくるのは私達自身だと思います。私は陸上競技において知らないことがまだまだあります。だからこそブロック員の意見を大切にしていきたいです。みんなが輝けるようなそんなブロックを作りたいです。よろしくお願いします。

跳躍ブロック長の抱負

跳躍ブロック長 山内裕香

跳躍ブロックの昨シーズンの競技面での反省は、他種目での大会での活躍が出来なかったこと、男女のレベルの差があったことです。したがって今シーズンの目標は、他種目での大会での活躍と、女子はもちろん男子の更なる競技力向上です。自分の専門種目では点数を取って来ることが出来ましたが、専門種目以外での活躍は乏しかったと思います。今シーズンは人数が少ないため、一人一人の他種目での活躍がチームに大きな影響を与えたいと思います。また昨シーズンは、女子に比べ男子の活躍が目立たなかったもので、男女共に全国で戦って活躍できるようなブロックにしたいです。

昨シーズンの練習での反省として、各自練が多くなってしまったことがあげられます。しかし、跳躍ブロックは仲が良く、ブロック内で指摘し合えることが出来ていたため、練習状況などの情報を共有することが出来ました。これは、跳躍ブロックの良いところなので、この関係は変わらずに、今シーズンを迎えていきたいです。

私のブロック長としての目標は、第一に今シーズンで最後の先輩方が最高のシーズンであったと思えるようなブロックにすることです。そのために、出来る限りブロックの皆さんの意見を取り入れてうまくやっていきたいと思っています。私自身、まだ競技者としても、ブロック長としても未熟ですが、ブロックを盛り上げていけるように頑張ります。とても頼りないブロック長ですが、私なりに頑張りますので、1年間よろしくお願いします！今年も跳躍らしく、楽しくにぎやかに、最高のシーズンにしましょう！

投擲ブロック長の抱負

投擲ブロック長 荒井啓輔

今シーズンの投擲ブロックは得点源だった4年次がいなくなり昨シーズンよりも得点力がダウンしてしまいました。これを補うため今シーズンは多種目に挑戦し得点源となれるブロックを目指します。多種目に挑戦するという事は目ざから言っていることですが、今シーズンはそれが口だけににならないよう、ブロック員間で自分の専門種目を教えあい、ブロック力を向上させていきます。そして全員が全種目自己ベストを目指し最終目標である「日本インカレ出場者を出す」ということを達成できるよう全力を尽くしていきます。

マネージャーブロック長の抱負

マネージャーブロック長 萩野谷安己帆

マネージャーブロックは、少しでも選手の方の支えとなれるよう、様々なことに目を向け、向上心と探究心を持ちながら、部のサポートをしていきたいと思います。タイムの計り方やマッサージの仕方など、成長できることには手を抜かず、選手の方の競技力向上の手助けをしていきたいです。また、私たち自身も、人間的成長ができるよう、自らの可能性を広げていきたいと考えています。そして、今まで先輩方が築き上げてきたマネージャーブロックを汚さぬよう、自信と責任をもって、選手の方々の支えになっていきたいです。至らない点やサポートしきれない面も多いかと思いますが、今後もマネージャーブロックをよろしくお願いします。

日立ブロック長の抱負

日立ブロック長 本圖理彦

来年度からは、日立ブロックは院生2人、学部生7人の活動となります。半分は2年次ということで、きっと活気にあふれるブロックになると確信しております。

私のブロック長としてのポリシーは各人のやりたいことの後押し、サポートをすることであり、1つの考え方を強制させることにならないよう気を付けていきます。

毎年述べられておりますが、研究室の作業や授業がとても忙しく、なかなか部活を全員が集まって練習するという形はとれない日立ブロックですが、同時に「自律」にふさわしい環境であると私は考えておりますので、競技者としての資質をより磨いていけるように、私も含め、その辺を良く考えて行動していきたいと思います。

いろいろなブロックに所属する人の集まりでこのブロックは構成されますが、「日立ブロックで良かった。」と自然と思えるような競技面・生活面ともに充実した素晴らしいシーズンを送れるようにしましょう！

関東理工系のタイトル総なめするぞ！！

IV. 2013 年度活動予定

2013 年度活動予定

日程	大会名	場所
5/18～19, 25～26	第 92 回関東学生陸上競技対校選手権大会 (関東インカレ)	国立競技場・日本大学陸上競技場(東京) 日産スタジアム(神奈川)
6/7～9	第 97 回日本陸上競技選手権大会	味の素スタジアム(東京)
6/21～23	2013 日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場(神奈川)
7/5～7	第 67 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/3	第 48 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/23～25	第 86 回関東陸上競技選手権大会	小瀬スポーツ公園陸上競技場 (山梨)
8/	第 62 回関東甲信越大学体育大会	未定
9/6～8	第 82 回日本学生陸上競技対校選手権大会 (日本インカレ)	国立競技場・日本大学陸上競技場
9/15～16	第 24 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場(東京)
10/12～14	第 28 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	町田市立陸上競技場(東京)
10/4～8	国民体育大会	味の素スタジアム(東京)
10/27	第 64 回北関東五大学対校陸上競技大会	上尾運動公園陸上競技場(埼玉)
10/19	第 90 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園(東京)
11/	第 11 回国公立 22 大学対校駅伝大会	未定
12/	第 68 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/	第 14 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(東京)
12/	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿	未定
1/26	第 62 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/	春合宿	未定
3/	第 17 回日本学生ハーフマラソン選手権大会	昭和記念公園(東京)
3/	関東学生春季オープン陸上競技会	国立競技場(東京)
3/	第 23 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)

V. 卒業・修了生より

鈴木麻理「この2年間の私」

大学院生として過ごした2年間、学部の4年間とは違った経験がたくさんでき、とても濃いものとなりました。マイルの日本インカレや国体の出場は、私にとって貴重な経験であり財産です。しかし、この2年間で私は競技面で成長することができませんでした。自己ベストを更新することはできませんでした。4年次の時に急に記録が向上し、シーズンが終わる時には「院生になったらもっと飛躍したい!」と野心に燃えていたはずでした。いざ、院生になると、思うように走れないもどかしさや焦りから「走りをもっと良くしよう!速くならろう!」ではなく、「4年次の時の走り・記録を守りたい」という思いが強くなり、ますます過去の自分に囚われてしまったように感じます。高みを目指す以上、変わらなければなりません。0.01秒の自己ベストを出すためには今の自分ではいけないのに…。この葛藤から脱却できないまま、2年間あっという間に終わってしまいました。悔いが残る以上、もう少しだけ目標に向かって頑張っていけたらと思います。そんな中でも、後輩たちが頑張っている姿、ひたむきに取り組む姿から多くの刺激を受け、みんながいたから2年間頑張れました。頼もしい後輩たち、良い意味でどんどん変わっていきましょうね♪



6年間、本当にたくさんの方々を支えていただきました。紙面では感謝の気持ちが伝えきれませんが…上地先生、渡邊先生、小川コーチ、先輩、後輩、同輩、陸協の先生方、そして家族、私に影響を与えてくださった全ての人に感謝します。ありがとうございました。

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・12秒10 / 200m・24秒52 / 400m・56秒88

滑川智登「2年間の活動を振り返って」

時が経つのは早いもので、2年間の大学院での生活を終え、修了を迎えようとしています。一昨年の4月、初めて陸上部の練習に顔を出したのを昨日の事のように思い出します。自分の競技生活の原点となる茨城に戻り競技ができた事、懐かしいメンバーと再会した事、新たな仲間と出会えた事をとても嬉しく思っています。

私はこの2年間、自分の弱い部分と戦い、最後まで勝つ事はできませんでした。常に甘え、人に頼り、肝心な場面でミスをしてばかりでした。陸上競技の楽しさが分からなくなり練習が作業化した時もありました。しかし、最後まで続けて良かったと思う事ができたのは仲間や先生方の温かいサポートがあったからです。短距離ブロックの仲間を始め、色々な話をした部員のみんな、技術面・精神面において様々なアドバイスを下さった上地先生・渡邊先生のおかげで自分の2年間は成り立ったと思っています。



これから社会人として新たな生活が始まります。この2年間での経験をこれからの生活に少しでも活かしていけたらと思っています。

最後に、自己記録こそ出せませんが、多くの対校戦に出させていただき競技者として幸せな生活を送る事ができました。ありがとうございました。

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・11秒22 / 200m・21秒90 / 400m・48秒59

青柳達也

大学4年間で過ごし、たくさんの人に支えられてここまで来ることができました。本当にありがとうございます。特に4年次のメンバーには、本当に助けられました。浅はかかもしれませんが、このメンバーで起業したいと思ったくらいです。ここに文章を載せると、いなくなってしまうみたいですが、自分は幸せなことに、あと2年間茨城大学陸上競技部で活動することができます。学部4年間でやり残したことはまだまだたくさんあります。



これから、大学院に進学し、練習時間の確保が難しくなってくるかもしれません。同世代がいなくなり、寂しさも増してくると思います。院での生活はまだ未知です。しかし、先に社会へ出て行った同期達の方が、環境の変化も大きいですし、たぶん忙しい毎日を通り過ぎていくと思います。大学に残って競技を続けられる幸せを感じ、同期達に恥じることはないよう、研究にも陸上にも取り組んでいきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

理学部/物理/跳躍

棒高跳・4m40 / 三段跳・12m96

浅川瞭「陸上部での4年間で振り返って」

「何故、ただ走って人と競うだけのスポーツがそんなに楽しいのか？」幾度となく投げかけられた質問であり、自分自身も考えたものです。高校、大学と7年間競技をしてきましたが、未だに明確な答えが出せません。でも、楽しいのです。試合でしか味わえないあの空気感、他人より早くゴールする爽快感、記録として自分の成長が一目瞭然にわかること、それらが魅力的なのかもしれません。しかし、核の部分は、また別の所にあるような気がします。やってみなければ分からない。そうとしか言いようがありません。



私は、大学生活において「さまざまな物事を経験してみる」という目標を掲げていました。実際、大学生活においてたくさんの経験をし、触れたことで、私自身の人間としての物事の考え方や、行動が大きく変わったように思います。その中でも、一番多くの経験をさせてもらったのが部活でした。毎日いろんなことを考え、そして、たくさんの人と関わったことは、一生の財産です。この部に所属できたことが、何より誇らしいです。

現在、部を退き、学生としてやるべきこともすべて終え、いまひとつ無駄な時間を過ごしてしまっています。読書をし、ブライントタッチの練習をし、英語をちょっとだけ勉強する。そんな毎日です・・・笑

皆さんに私からひとつ言いたいことは、「1日24時間という限られた枠組みの中で、充実した毎日を送ってほしい」ということです。学生の時間は自由です。何が自分を大きく変えるかは分かりません。今は興味のないことに挑戦したら、新たな面白さや発見に出会えるかもしれないし、部活にとことん向き合ってもいい。とにかく、今ある時間を使って、これはやりきったと言えるものを作ってほしい。そうしたら、毎日が更に楽しくなるかもしれません。

最後になりますが、4年間指導して下さった上地先生、渡邊先生、本当にありがとうございました。すごく鍛えられました！！

来年以降、社会人として、三浜で会うことは絶対にないでしょう！（笑）

人文学部/社会/長距離

800m・2分04秒13 / 1500m・4分17秒34

小島恵梨香「4年間を振り返って」

陸上競技部員として過ごした4年間はあっという間でしたが、毎日が濃いものでした。中学、高校と陸上競技をしていましたが、大学入学時には陸上競技を続けることを考えていませんでした。高校時代に怪我をし、痛みをこらえ最後の大会に出場したことから、もう陸上を続けることは無理だと考え、離れたと思っていました。しかし、上地先生に声をかけていただき、陸上競技を続けることを決めました。入部してからは、やはり怪我とともに競技を続けることになるので、痛みが悪化し走ることができないなど苦しいこともたくさんありました。最初は怪我をマイナスにとらえるばかりで、何も行動することができませんでした。しかしながら、指導をしてくださる先生方や同期をはじめたくさんの部員に支えられ、部員たちの試合での活躍に刺激を受け、怪我でもできることをしっかりやろうと徐々に前向きに捉えることができるようになりました。



1~3年次では、怪我→復帰→怪我のサイクルを繰り返す競技生活になってしまいましたが、4年次になってやっと怪我とうまく付き合っけて競技をすることができました。怪我で悩んで苦しんだ時間は長かったですが、4年になって個人種目で大幅に自己ベストを更新することができたり、夢の舞台であった日本インカレにマイルメンバーとして出場することができたりと嬉しいことがたくさんありました。あきらめずに目標に向かって努力し続けることの大切さをこの4年間を通して、改めて実感しました。4月からは、新たな生活が始まりますが、部員として過ごした日々で考えたこと、学んだことは社会に出た時に必ず役に立つと思います。最後に、私の陸上競技生活を支えてくださったたくさんの方に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

教育学部/健康/短距離

400m・59秒80 / 400mH・65秒79 / 200m・26秒97

栗原航介「4年間を振り返って」

月日が流れるのは早いもので、あっという間に4年間が経ちました。入学してから陸上競技部に入部するまでの間、トランポリンを跳んでいたことを昨日のこのように思い出します。ほんとに跳ぶのが好きなんだなあとつくづく思いました。

陸上部に入部してからは、ずっとやってみたかった棒高に挑戦でき、跳躍4種目を経験することができました。結果的に、棒高は練習環境が厳しく挫折し、他の種目も最初の3年間は自己ベストも出せず、陸上を続ける意義を見失いかけてました。しかし、そんな僕を受け入れ、温かく見守ってくれる同期、先輩、後輩、先生方が茨城大学陸上競技部にいます。みんなのおかげで4年間続けられ、楽しいことも辛いことも寂しいことも経験できました。幸い僕にはあと2年間、経験を積めるチャンスがあります。このチャンスを活かし、今までお世話になった方々に恩返しをできればと思います。



最後になりますが、4年間お世話になった上地先生、渡邊先生、小川コーチ、OB・OGの皆さま、日立のお兄様方に感謝申し上げますとともに、これからもよろしく願い致します。そして、卒業していく同期のみんなの健闘、活躍を期待しています。

工学部/都市シス/跳躍

三段跳・12m60 / 走幅跳・5m91 / 走高跳・1m70 / 棒高跳・3m00

逆井智也「4年間を振り返ってみました」

この茨城大学陸上競技部で過ごした4年間はとても楽しく充実したものだと感じています。今思い出しても、試合で自己記録を出し喜びを分かち合ったこと、同期と遊びまわったこと、ブロックメンバーと練習中に奇声を発しながら追い込んだことなど、楽しかったことばかり思い出されます。

私はスポーツコースということもあり、生活が陸上競技を中心に進んでいました。食事でも栄養やカロリーを気にしたり、練習の前日は早く寝たり、道端でイメトレをしたりと、この4年間は陸上競技に没頭することができました。好きなものにじっくり没頭できるのは大学生に与えられた特権ですので、活かさない手はないですね。

大学4年間を通し、記録として走幅跳は35cm、三段跳は97cm記録が向上し、高校からの目標である7mと14mを跳ぶことができました。2年次のころは全く記録が伸びず、悔しい思いをしてきました。しかし3年次の後半にきっかけを掴み、そこから大きく記録を伸ばすことができました。それでも1年次のころから目指していた茨城大学記録を跳べなかったことが唯一の心残りです。

私は今後、陸上競技を続けられる環境にいるかはわかりませんが、身体を動かすことが好きなので、秩父の地でゴルフを極めようと思います。また、皆さんの成長した姿を見に、大会を訪れたいと思います。

4年間指導してくださった上地先生、渡邊先生、コーチ、先輩方、誠にありがとうございました。そして、ともに時を過ごしたチームの皆さん、とても素晴らしいチームでした！ありがとうございました。これからも上を目指し頑張ってください。

教育学部/スポーツ/跳躍

走幅跳・7m02 / 三段跳・14m24 / 走高跳・1m60



鈴木香織「4年間をふりかえって」

4年間の茨城大学陸上競技部での活動をふりかえると、さまざまな経験や挑戦、感情がよみがえってきますが、終わってみるとあっという間でした。入学したのが体育科であるにもかかわらず、部活に入らず女子大生ライフを満喫していた1年次の4月。あの頃の自分は、まさか3年後に、円盤投で9m近く自己ベストを更新したり、ハンマー投で全国大会に出場したりするなんてこれっぽっちも思っていなかったでしょう。陸上競技部に入るきっかけを作ってくださった上地先生には本当に感謝です。そしてこんな私の面倒をみてくださった投擲ブロックの先輩方がいなければ、途中で逃げだしていたかもしれません。さらに、いつでも競技に対してストイックな同期のメンバーがいたからこそ、常に刺激を受けることができたのだと思います。たくさんの後輩たちにも恵まれて、とてもいい環境で活動できたと感じています。また、主務としてもとてもいい経験をさせていただきました。主催の大会前はとても忙しかったし、余裕もありませんでしたが、大きなミスもなくやり遂げたことで、かけがえのない仲間存在に気付くことができました。大会や合宿、運営を通して、他大学にもたくさんライバルや友達ができました。これらの数え切れないほどの経験は、間違いなくこれからの人生の糧になると思います。これから先、どのような形で陸上競技に携わるか未定ですが、OGとして試合に足を運びたいと思います。みんながんばれ！

最後になりましたが、多くのご指導をくださった上地先生、渡邊先生、ありがとうございました。陸上競技部のみなさん、お世話になりました。

教育学部/健康/投擲

ハンマー投・44m62 / 円盤投・42m16 / 砲丸投・10m60 / やり投・34m49



富井一仁

勝田マラソンが終わり、卒論発表会も終わり、いよいよやる事がなくなった今日この頃。完成した部誌を読んでいるころには社会人かかと考えると不思議な気分です。このたびは「卒業生より」と4年間を振り返る機会をいただいたので簡単に振り返りたいと思います。

初めてグラウンドに足を運んだ日、同郷の悠輔さんや入れ替わりの高校の先輩のおかげでも温かく陸上部に迎えていただきました。陸上部の活動は楽しいものでしたが1, 2, 3年次は高校の頃の競技力と比べてしまい、高校よりも退化している自分に情けなさを感じていました。この頃からアイドルやアニメに傾倒していきました。口には出さなかった？と思いますがよくない結果は人のせいにして周りの目ばかり気にしていました。

しかし自分の中で転機が来ました。いつかの総会で上地先生が「高校のころに戻すのではなく新しく作っていくことを考えてほしい」とおっしゃっていました。同じ頃、石岡練の滑川さん車内で「今ある体から作っていく」とアドバイスを頂きました。「戻すんじゃなくて新しく作る」そのように考えるようになったら気持ちも楽になり、周りの人の目を気にすることもなくなりました。

新体制とともに気持ちを入れ替えて基礎体力系トレーニングにも積極的に取り組みました。ウエイトの形やパウンディングのやり方がわかると、できることが増えて楽しさを覚えるようになりました。楽しくなると心に余裕が持てました。部員の調子を気にしたり声をかけるようになってきました。積極的に人と話をすると不思議と記録が伸びていきました。

まとまらないのですが4年間で学んだことは「あまり考えすぎず人と話してみること」だと思います。あと忘れてはいけません。本当に良い仲間と出会えたこと。4年間の活動は夢のような出来事でした。茨城大学陸上競技部を通じて出会ったすべての人々に本当に感謝です。後輩の皆さん。趣味で走ることは続けるので勝田マラソンの時はベンチ貸してね。

社会への門出はもうすぐです。人間賛歌は勇気の賛歌。勇気を胸に生命のビートを刻みます。

教育学部/社会/長距離

1500m・4分11秒31 / 3000m・9分05秒61 / 5000m・15分39秒04 / 10000m・32分39秒86



林田麻由「4年間を終えて」

引退してから4ヶ月が経とうとしています。段々と筋肉が落ち、腕や脚が細くなり、引退してからの生活に慣れてしまっています。たまに部活に顔を出すと目標に向かって肉体を酷使し、現役で活動している姿はとても輝いて見えています。現役時代、自分がそんな姿だとは思っていませんでしたが、目標に向かう一生懸命な姿は輝いていて、周りに刺激を与えるのだと今になって感じています。また、陸上を続けられる環境があることが幸せなことだと改めて感じています。

現役時代、私にとって陸上競技は「私を表現できるもの」でした。しかし引退した現在にとって陸上競技は「私を成長させてくれたもの」になりました。目標に向かう中で自ら学んだ事もありましたが、それ以上に色々な人の知識や考えが私を成長させました。運営や怪我や仲間のことで悩んだ時や視野が狭くなった時にいただいた言葉の数々から新たな知見を得ることができたと思っています。年上の方々だけでなく、同期や後輩からもたくさん学びました。4年間、支えて下さった上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩に大変感謝しています。

来年度からは社会人です。私を成長させてくれた陸上競技生活の経験を生かして生きていきます。

陸上競技生活に携わって下さいました多くの方々に大変感謝しております。ありがとうございました。

教育学部/健康/跳躍

走高跳・1m70 / 三段跳・11m47



辻はるか「今になって感じること」

偉大な先輩方が次々と卒業していき、いよいよ自分が卒業する番になってしまって、非常に複雑な気分です。大学での部活は、愉快的な仲間たちに囲まれ、短距離から投擲になったり、ケガで身動きがとれなくなったり、運営の年に震災があったり、フルマラソンで足が死んだり、すごく密度が濃いものでした。4年間充実していたなあ・幸せだったなあと感じています。



実際、大学での部活は楽しいことばかりではありませんでしたが、人間というものは実に上手くできていて、嫌な思い出とか辛かったことを優先的に忘れていくんですね。だから、確かに当時は辛くて、真剣に「辞めたい」と思ったことが何回かあったけれど、そんな感情もうすっかり忘れてるから、今となっては楽しかった記憶しかなくて(笑)。

ひたすら部活漬けの大学生活だったけれど、本当に、本当に最後まで部活を続けて良かったと今は胸を張って言えます。

人によって、立場によって色々しんどい思いをしている人がいると思うけど、途中で辞めたり何かを投げ出ししたりするなんてもったいない。この部活は本当にいい部活です。必ず自分の財産になります。

あと、たくさんの先輩たちによって伝統が作られ・受け継がれ、多くの他大学と協力し、陸協の方々に支えられて、この茨城大学陸上競技部は成り立っています。冷静に考えたら自分が大学で普通に部活出来るってすごいことだって気付くよね。たまーにこのこと思い出してみましょね！

最後になりますが、ブロック員の仲間、同学年の仲間、先生方、先輩方、後輩達、私を支えてくれたたくさんの人たち、本当にありがとうございました。ありきたりの言葉ですが、みんなのおかげで今の私はここまで来ることが出来ました。

自分は来年度から社会人となってしまいますが、この部活をいつまでも陰ながら応援しています。たまに顔出すかもしれませんが、次にみんなに会うときはちょっと体を絞って、カッコいい社会人としての姿を見せたいと思うので、楽しみにしてくださいね！

教育学部/スポーツ/投擲

円盤投・25m70 / 砲丸投・7m50 / やり投・25m87

南部智彦「4年間を振り返って」

よく言われることですが、時間が経つのは早いものだなと実感しています。

初めて茨城大学陸上競技部に来た時は、大人数で円になって集合しているなか「大学の部活はこういう雰囲気なのか」と圧倒されたのを今でも覚えています。

この4年間、茨城大学陸上部を通じての、今の私の思いは『感謝』の一言に尽きるかと思えます。怪我が続き満足のいく結果がでない時にも、支えとなっていたのは先生方や部員のみなさんでした。また、競技面以外でも、運営であったり、人との関わりや地域との関わりであったりと、日々学ぶことが多く、そういったことが少しずつ私を成長させてくれたと思います。本当に感謝です。



この部活を通して学んだこと、得られたことはとても多く、この経験はきっと人生のなかで大きな価値を持つことになると思います。これからの生活、社会へ貢献できるよう生かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期のみんな、後輩のみなさん、本当にありがとうございました
人文学部/社会/短距離

100m・11秒91 / 200m・24秒78

ホアン テ ウェン「4年間を振り返って」

皆さんと陸上競技ができたこの4年間は、私にとってとても充実した時間となりました。怪我に苦しめられたり、運営で上手くいかないこともあり、決して楽しい事ばかりではありませんでしたが、同期の皆の支えを始め、先輩や後輩の応援のおかげで競技を続けることができました。振り返ると主将を務めていたときは、対校戦の終わりの集合でいつも泣いていましたね。あの頃は自分でもなぜ涙を流すのか、はっきりとした理由はわかりませんでした。しかし、今になって振り返ると、チームに貢献できなかった自分への不甲斐なさとは反対に、みんなの顔を見ると「大丈夫！」と励まされているようで、とても嬉しかったです。こんなにも本気になって自分のためだけではなく、チームの事を思って陸上競技に取り組む経験ができたことはとても幸せでした。この4年間で陸上競技を通して、競技力だけではなく、人間的にも一回り大きくなったような気がします。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、OB・OGの先輩方、部員の皆さん、本当にありがとうございました。これからも私はこれまで以上に成長していかなければなりません。ご指導、アドバイス、応援よろしくお願ひします。私もOBとしてこれからの皆さんの活躍を期待し、応援しています。

教育学部/スポーツ/投擲

やり投・62m05 / 円盤投・40m84 / 砲丸投・12m27



堀越成志

5年前に勇気をもって入部したのが懐かしいです。止めときゃよかったと思っていたことも懐かしいです。あれからなにをしてきたのでしょうか？正直なところ反省ばかりが頭に浮かびます。強い先輩に引っ張られて頑張ってきました。頼りになる後輩に背中を押されて走ってきました。優しい同期に支えられて続けてきました。過ぎた季節は悔やんでも仕方がない。今度は自分がほかの誰かにされたように自分がほかの誰かの助けになれるように努力したいと思います。

記録は不満足なまま卒業となってしまいました。自分の憧れにはあと一步届かず悔しかったです。環境や境遇なんてすべては甘えであります。しかし、そのなかで戦うことを教わりました。これから先も苦難の連続だとおもいます。それでも二度と悔しい思いをしないように全力でがんばっていきます。

部活をやめたい時期はありました。陸上やる意味なんてないと思いました。でもよくわかりました。続けてきた意味は終わるときに初めてわかるという意味が。なんというか、それだけでもこの陸上生活はとても価値のあるものを感じました。それに関しては満足だ！！

最後になりますが陸上競技部の顧問、先輩、同期、後輩、日立の皆様。本当にいままでありがとうございました！これからはもう少しちゃんとしていこうと思います。

ああ・・・やっと卒業できる。

工学部/機械/跳躍

走高跳・1m75



吉原友理「感謝してもきれない」

「4年間、茨城大陸上競技部でいられてよかった。」入学した頃にはこのような最後を迎えるなんて想像も出来なかったことです。はじめ、期待・希望をもっていました。しかしそれは自分を弱さのせいで、打ち砕かれてしまいました。色んなことに託けて、陸上競技と向き合えてこなかった時間がたくさんありました。その度にたくさんの方にご迷惑をお掛けしてしまったこと、反省しています。この部に入って、「強さとはなんなのか。」「自分にとって陸上とはなんなのか。」を、今までと違った視点から、考えられるようになったと思います。4年次では、競技者であり、愛好家でありたいと思うようになり、陸上ができる喜びを日々感じ過ごすことができました。



今、こうして陸上競技部として卒業出来るのは、同期のみんな、先生方、先輩方、後輩みんなの支えや、両親の協力のお陰です。闘の中でもがいている時には、辞めてしまおうと何度も思いましたが、わざわざ闘の中に手を差し伸べて救ってくれた存在がありました。素敵な仲間に出会えたことにただただ感謝しています。感謝してもきれないほどです。また直接ではなくても、みんなの練習している様子や試合で頑張っている姿から、自分のふがいなさを痛感し、悔しく思い、羨ましくも思いました。今でも、「すごいなあ。」と思ってぼんやり見ていることが多々あります。それがあってか、引退した時は清々しい気持ちでいましたが、もう少しやっていたいなと思ってしまったので、現役続行です。その時はつらくても、思い出は美化されるもの。4年間の思い出を胸に、これからも楽しく跳んでいたいと思います。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生、小川さんをはじめ、お世話になったたくさんの方々、大変ご迷惑お掛けし、申し訳ありませんでした。ありがとうございました。

教育学部/国語/跳躍

走幅跳・5m80 / 三段跳 11m09 / 100mH・17 秒 03 / 走高跳・1m45

VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

秋庭寛史

皆さん、こんにちは。時が流れるのは早いもので私が卒業してからもう1年が経とうとしています。私はようやく仕事に少し慣れ始め、仕事の大変さを知るとともに楽しさも分かるようになりました。

卒業してから本当に陸上部に所属して良かったなと思います。楽しかったことや嬉しかった事はもちろん、辛い事や後悔したことも含めてです。時間が過ぎ、振り返ることができれば辛い事なども貴重な経験となり、また新しい困難のほうが辛いと思えるからです。ですから部員の皆さんには、多くの経験をして欲しいと思います。

また、仲間を特に同期を大事にして欲しいです。かけがえのない時を共有した仲間であり、一生の仲でいたいと思うからです。それだけ、支えられて感謝しているからです。

今年は比較的、皆さんとお会いできたかなと思っています。これからもちょこちょこ試合を見に行きますし、稀には練習に参加しようかな（市民ランナーというよりは、健康目的で・・・）と考えていますので、その際は宜しくお願いします。

茨城大学陸上競技部の今後のますますのご活躍を期待しております。楽しいことだけでなく辛く苦しいことは多々あると思いますが、後悔せず目一杯、この一時を過ごしてください。

農学部/資源生物/中長距離

5000 m・16分03秒47 / 10000m・33分55秒98 / マラソン・2時間45分41秒



荻生めぐみ

みなさん、こんにちは！昨年3月に大学を卒業し大好きな富山に戻ってきてから、早1年が経とうとしています。大学時代は当たり前のように毎日顔を合わせていたのが嘘のようです。私は現在、地元富山にある会社で事務職として働いています。晴れて社会人となったわけですが、楽しいこともあり、時にはつらいこともあり、それでも毎日充実した生活を送っています。社会に出て真っ先に感じたのは、常に部活動の経験がベースとなって活かしていることです。運営やマネージャーの仕事、大学時代はたくさんのことに悩んでしまった私ですが、その1つ1つの経験があるからこそ今の私があるのだなと強く思います。一口に仕事と言っても大きな仕事もあれば、「これも仕事!？」と思うようなちっぽけな仕事までたくさんあります。しかし、どんな仕事にも動じず、大切な仕事として頑張れるのは、マネージャーとしてたくさんの仕事を経験させていただいたからかな…と思っています。

後輩のみなさんへ、どんな時も楽しむことを忘れないでください。何かに悩んでしまうと、自分のことや目の前のことばかりに集中してしまいがちですが、そんな時こそ視野を広げてみてください。色んな人に相談して話を聞いてみてください。必ず解決の糸口が見つかると思います。「つらいときこそ楽しむ余裕を持って♪」そんな気持ちでこれからも頑張ってください。

大学4年間ともに運動をしていなかったのですが、今年の勝マラ以降、ちょくちょくマラソン大会に出場しています。「荻生さんの勝田マラソンの記録を破ります!」と言ってくれた頼もしい後輩ひ○みんがいるので、私も負けじと頑張ろうと思います(笑)

これからもずっと後輩のみなさんのことを応援しています。茨大ファイター!!

教育学部/健康/マネージャー



城所舞

卒業から早一年…もう体重を増やす必要はないのに、どこへいっても残飯処理係になってまう城所です。

大学時代は「NEET になりたい…」と毎日のようにつぶやいていた私ですが、今では立派に(?) 小学校教員として働いています。研修で会う同期の先生方は皆「忙しい」と言っており、職場の先輩方からも「疲れるでしょ?大丈夫?」とよく心配されるのですが…正直、私は全く堪えていません。高校から陸上中心の生活になり、ウエイト場でのたうち回り、吐くまで食べ続けた日々…そして幹部時の忙しさを思い出せば、仕事の疲れなんてどうってことないです。体力的にも、精神的にも、陸上競技部で培った力が、現在に生きてると毎日実感しています。たとえ競技でいい結果が出せなかったとしても、必ずどこかで自分の力になっています。それが分かるのは今じゃないかもしれません。でも、きっとどこかで感じることはあるはず。信じて、最後まで頑張ってみてください。



現在、自分では競技を続けていないのですが、週1で小学生の陸上教室に行っています。こうしてまた陸上に関わることが出来て嬉しく思っています。卒業しても、陸上を通して皆さんとは繋がっていて、それが私の原動力の一つになっています。突然練習に顔を出しても暖かく迎えてくれる、この部が大好きです。今後も、茨城大学陸上競技部のより一層のご活躍をお祈りしております。それでは!

教育学部/保健体育/投擲

砲丸投・12m33 / 円盤投・37m57/ やり投・31m06 / ハンマー投・28m60

高野和文

皆さんこんにちは。昨年卒業した高野です。私が卒業してからもう一年が経ってしまうんですね。本当に早いです。

私は現在、福島県の郡山市で鉄道車両のメンテナンスの仕事をしています。学生時代は色々ありましたが最終的にはパソコンと睨めっこの情報工学を専門で卒業したので、鋼鉄をハンマーで叩いたりフォークリフトで重量物を運んだりする今の仕事は私にとって毎日が今まで経験したことがない真新しいことであり、充実した日々を送っています。



そんな私ではありますが、まだまだ陸上競技はやりたいと感じていて、昨年は地元岩手の選手権大会に出場したり市町村対抗の駅伝大会に出場したりと、「現役には負けてられないぜ」という意気込みで頑張っています。最近では会社の同期のダイエット志願者数人を騙して週に2・3回結構いいペースで10km走らせるなど市民ランナー育成にも熱が入り、おかげで会社の駅伝大会では優勝を果たし、新人ながら会社の超エライ人からお酒を注いでもらうという美味しい思いもできました。

私から現役の皆さんへ何かアドバイスをしたいなとは思ったものの何も思いつかなかったので、今シーズンも何度か顔を出して「まだあの高野って人走ってるのか、うわっ微妙に速い。けど負けたくないな」という風に少しでもプレッシャーとやる気を与えられるように頑張りたいと思っていますのでよろしくお祈りします。

工学部/情報/中長距離

800m・2分00秒02 / 1500m・4分05秒61 / 3000m・9分10秒90 / 5000m・15分58秒23

小向瑞樹

みなさん、お久しぶりです。みなさんの活躍をネットなどで見るたびに嬉しく勇気が湧いてきます。

私は現在人の手助けをする仕事についており、毎日忙しい日々を送っている一方で充実したものとなっています。しかし、そのためか、あまり運動ができておらず体重が増えていく一方で困っています。この仕事は体が資本ですので、大学時代までは及ばないにしろ、定期的な運動はこころがけるべきかなと思っています。

ですが、大学四年間茨城大学陸上競技部として走ってきた日々は決して無駄ではなかったと思います。練習や運営など多くの経験が社会人になってから、役立っており、助けになっています。ですから、日々の努力は目の前で実ることができなくても、必ず後々になって結ばれると思いますので、一生懸命楽しくやってください。

社会人になってよく言われることは「報告・連絡・相談」「情報の共有」「挨拶の励行」などです。当たり前だと思いますが、これをしっかり行わなければ、組織の運営が成り立たず、より上の段階に進めないと思います。大学時代毎年言われることだと思いますが、是非みんなで意識していき、より良い部活を目指してください。みなさんの活躍を期待し、私自身も上を目指して邁進します。

人文学部/人コミ/中長距離

1500m・4分08秒92 / 5000m・16分21秒24 / 10000w・49分38秒28



山本悠輔

茨城大学陸上競技部の皆さん、こんにちは。平成24年度に教育学研究科を修了した、山本悠輔です。何度か練習や試合に顔を出させていただきました。いつも温かく迎えてくれる皆さんにとっても感謝しています。

私は現在、静岡県の特設支援学校に講師として勤務しています。高等部の生徒たちは、社会に出て働くためにはどうすればいいか、自立した生活を送るためにはどうしたらいいか、など様々な思いを持っていますが、それぞれが目標を持って一生懸命生活しています。私はそんな生徒の姿に力をもらって毎日元気に過ごしています。

働き始めてまだ1年足らずですが、とても大事だなと感じたことがあります。それは教員同士で「共通理解する」ということです。生徒の実態、目標などから、どういった支援をしていくか、教員として問題行動にどう対処していくかなどを共有しています。会議ではもちろんですが、普段の会話でもその意識が高いと感じます。人それぞれ得意なことや苦手なことがあります。が、「生徒をよりよくする」という目標に向かって力を合わせ、全員で指導に当たっています。この学校に来て、素晴らしいチームだと思ったと同時に、陸上競技部の皆さんにとっても有効なことが多いのではないかと感じました。参考になれば嬉しいです。修了間際、ギリギリまで悩んで決断した進路でしたが、今では特別支援学校に来ることが出来て幸せだったと感じています。

そんな私ですが、幸運にも教員採用試験に合格することができ、来年度からは念願の中学校教諭としてスタートを切る予定です。まさに「On Your Marks.」といった心境です。今まで、大学、大学院、そしてこの学校と、多くの人に出会い、たくさん悩み、学んできましたが、この経験を生かして全力疾走していきます。この部誌が発行される頃には皆さんも新しいシーズンがスタートしますね。それぞれのゴールに向かって、よきライバルとして頑張っていきましょう。私はいつでも皆さんを応援しています。

教育学部/保健体育/短距離

100m・11秒15 / 200m・22秒76



手倉森洋人

皆さん、こんにちは。時々、大会などにお邪魔しておりました手倉森です。季節が過ぎるのは早いものですね。修了生からのメッセージを書いていた頃からもう一年が経ち、昨年とは異なる立場でメッセージを書かなければと思うと、物凄く不思議な感じがしています。

私は現在、医療現場を相手にした仕事をしています。ちょうど半年くらい前から簡単な仕事を任せられ、一人で担当するエリアを回っている状況です。必要となる医療知識の多さや現場のルールなど、学ぶべきものの多さに悪戦苦闘の毎日を送っています。ですが、裏を返せば



新しい環境はとても刺激的で、現場で会う人の中には尊敬できるような方もいます。また、プロの技術によって救われる人を間近で見られること、そこに自分が少しでも関わることなどとても充実した日々でもあります。

皆さんはどうでしょうか。きっと、それぞれの目標に向かって一生懸命努力していることと思います。でも、一生懸命やっているからこそどこかで壁にぶち当たっているとも思います。私も仕事をしていると逃げたくなるような問題によく遭遇しますが、そんな時はまずお茶にするなどして一呼吸おくようにしています。悩んでいるときというのは冷静に物事を捉えられていないことが往々にしてあるので、そこで気持ちを一度リセットし、次に物事を前向きに捉えるようにしています。例えば、自分にとって苦手な商談があったとしても、自分が勇気を持って前に進まなければ話自体進まないし、困難な状況だからこそその先には成長があるんだ、自分にはきっとできる、などと言い聞かせます。何の準備や努力もなく思い込むだけではただの自意識過剰なんです…己の肉体を動かすのは精神ですから自分を強く信じるというのはとても重要だと思います。それに自分を信じ決断した結果だからこそ、失敗したとしても後悔はないですし、きっと楽しめるはずです。導入の段階で限界を作っては、その時点で自分にも相手にも負けているような気がしませんか。あくまで個人的な考えですが、私が茨大陸上部で学び今でも自分を支えている一つの要素ですので、少しでも皆さんの参考になれば…なんて偉そうに語ってみた次第です(笑)。

最後になりますが、学生であろうと社会人であろうと与えられた時間は同じです。ですが、時間の自由度に関してはやはり学生の方が絶対的に高いと思います。ですから、毎日を楽しまないなんて勿体ないことです。ぜひ今この時間を悔いのないよう全力で過ごしてください！

工学部/物質/中長距離

5000m・15分31秒30 / 1500m 4分09秒12 / 3000mSC・9分36秒96

Ⅶ. 記録集

茨大記録 【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWING
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	秋山 陽祐	8.52.10	2009/4/12	県記録会	笠松
5000m	秋山 陽祐	14.52.16	2009/9/21	国公立 22 大	千葉県総合
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
110mH	星 耕平	14.98(+0.4)	2012/8/29	国公立 22 大	仙台
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	岡崎 浩樹	9.07.37	2008/8/24	関東選手権	笠松
5000mW	小向 瑞樹	24.40.48	2009/8/24	国公立 22 大	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49.38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	成石・杉崎・大久保・神尾	40.75	1996/9/6	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1.27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3.14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7.54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16.38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	浅井・成石・大久保・岡	1.57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/9/8	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09(?)	1958/7/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	ホアン・テ・ウエン	40m84	2010/8/7	千葉対校	笠松
ハンマー投	小林 朋寛	47m06	2012/8/29	国公立 22 大	仙台
やり投	渡邊 将司	66m94	2000/10/19	国公立 21 大	小瀬
十種競技	渡邊 将司	6676 点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1:09.27	2008/3/9	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

茨大記録 【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10(+0.8)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52(+0.1)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
400m	鈴木 麻理	56.88	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
800m	石澤ゆかり	2.10.95	2010/9/26	国公立22大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/9/28	国公立22大学	緑が丘
3000m	石澤ゆかり	9.41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	黒澤 夏楠	34.05.11	2012/12/22	日体大長距離	日体大
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/9/18	国公立22大学	国立競技場
4×100mR	酒井・鈴木・山口・肥田埜	47.67	2012/7/5	茨城県選手権	子吹
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1.48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	林田・鈴木・肥田埜・小島	3.49.50	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9.42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	黒川・呉・長谷川・柴	2' 22" 05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	山内 裕香	3m52	2012/7/6	茨城県選手権	小吹
走幅跳	吉原 友理	5m80(+1.6)	2009/7/4	茨城県選手権	笠松
三段跳	遠藤 園子	12m63(-0.3)	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
砲丸投	城所 舞	12m33	2011/8/16	千葉対校	千葉
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
やり投	高村理恵子	41m76	1999/6/18	北関東五大学	小吹
ハンマー投	弓削真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
七種競技	山口 真未	4873点	2012/9/9・10	日本インカレ	国立競技場
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	黒澤 夏楠	1:14.06	2013/3/17	まつえレディース	島根
フルマラソン	野田 春香	2:42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

2012 年度ランキング

【男子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	伊藤 太一	10.60(+0.9)
	2	伊藤林大郎	11.25(-0.7)
	3	山田 優	11.28(+1.1)
200m	1	伊藤 太一	21.46(-0.5)
	2	滑川 智登	22.05(+0.5)
	3	山田 優	22.91(-0.4)
400m	1	滑川 智登	50.13
	2	柴 俊博	50.57
	3	福田 智仁	50.58
800m	1	加藤 俊介	2.03.01
	2	浅川 瞭	2.04.46
	3	城石 俊朗	2.05.06
1500m	1	加藤 俊介	4.07.40
	2	富井 一仁	4.11.31
	3	金田 祐輔	4.16.20
3000m	1	富井 一仁	9.05.61
	2	村田 賢哉	10.10.02
5000m	1	富井 一仁	15.39.04
	2	加藤 俊介	15.40.65
	3	齋藤 圭介	17.16.10
10000m	1	富井 一仁	34.15.42
110mH	1	星 耕平	14.98(+0.4)
	2	本圖 理彦	15.35(-0.2)
	3	村山 靖真	16.10(+0.5)
400mH	1	川部 優太	55.41
	2	星 耕平	55.44
	3	柴 俊博	57.53
3000mSC	1	金田 祐輔	10.15.87
4×100mR	1	伊藤・伊藤・山田・滑川	41.49
	2	伊藤・伊藤・星・滑川	41.53
	3	川部・伊藤・星・柴	41.90
4×400mR	1	柴・滑川・福田・川部	3.20.23
	2	福田・柴・滑川・川部	3.20.51
	3	山田・川部・柴・福田	3.24.33
走高跳	1	堀越 成志	1m75
	2	栗原 航介	1m70
	3	逆井 智也	1m60
棒高跳	1	青柳 達也	4m40
	2	沖崎 一也	4m30
	3	栗原 航介	2m90
走幅跳	1	逆井 智也	7m02(+1.0)
	2	沖崎 一也	6m21(+1.5)
	3	栗原 航介	6m04(+0.8)
三段跳	1	逆井 智也	14m24(+0.7)
	2	沖崎 一也	13m09(0.0)
	3	青柳 達也	12m74(+1.3)
砲丸投	1	ホアン テ ウェン	12m27
	2	小林 朋寛	11m43
	3	荒井 啓輔	9m12
円盤投	1	ホアン テ ウェン	40m83
	2	近藤 顕二	30m47
	3	小林 朋寛	30m26
やり投	1	ホアン テ ウェン	61m61
	2	近藤 顕二	58m69
	3	荒井 啓輔	54m36
ハンマー投	1	小林 朋寛	47m06
5km	1	富井 一仁	16.22
10km	1	金田 祐輔	35.10
フルマラソン	1	富井 一仁	2:43.01
	2	浅川 瞭	4:49.06
	3	青柳 達也	5:27.50

【女子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	鈴木 麻理	12.31(+0.7)
	2	肥田埜里枝	12.59(+0.3)
	3	酒井くるみ	12.94(+1.2)
200m	1	鈴木 麻理	25.01(+1.5)
	2	肥田埜里枝	25.07(+1.8)
	3	山口 真未	26.85(-0.5)
400m	1	肥田埜里枝	56.95
	2	鈴木 麻理	58.97
	3	小島恵梨香	59.80
800m	1	黒澤 夏楠	2.25.73
	2	大貫 綾子	2.25.81
	3	木村 世奈	2.30.94
1500m	1	黒澤 夏楠	4.46.88
	2	大貫 綾子	4.55.61
	3	木村 世奈	4.56.93
3000m	1	黒澤 夏楠	10.02.55
	2	大貫 綾子	10.09.18
	3	木村 世奈	10.35.41
5000m	1	黒澤 夏楠	16.35.50
	2	木村 世奈	17.52.75
10000m	1	黒澤 夏楠	34.05.11
	2	木村 世奈	38.49.32
100mH	1	山口 真未	14.81(-0.8)
	2	酒井くるみ	15.28(+0.8)
	3	吉原 友理	19.93(+1.9)
400mH	1	小島恵梨香	65.79
	2	島山 明子	68.29
4×100mR	1	酒井・鈴木・山口・肥田埜	47.67
	2	酒井・鈴木・林田・肥田埜	47.77
	3	遠藤・鈴木・林田・肥田埜	48.36
4×400mR	1	林田・鈴木・肥田埜・小島	3.49.50
	2	小島・林田・鈴木・肥田埜	3.50.52
	3	肥田埜・林田・酒井・鈴木	3.52.62
走高跳	1	林田 麻由	1m70
	2	山口 真未	1m63
	3	吉原 友理	1m45
棒高跳	1	山内 裕香	3m52
走幅跳	1	吉原 友理	5m70(+2.0)
	2	山口 真未	5m30(0.0)
	3	遠藤 園子	5m15(-0.2)
三段跳	1	遠藤 園子	12m63(-0.3)
	2	林田 麻由	11m47(+1.3)
	3	吉原 友理	10m58(+1.5)
砲丸投	1	山口 真未	10m76
	2	鈴木 香織	10m20
	3	星野 千恵	8m80
円盤投	1	鈴木 香織	42m16
	2	星野 千恵	38m54
	3	安田 萌	25m03
やり投	1	山口 真未	40m32
	2	遠藤 園子	39m81
	3	鈴木 香織	34m49
ハンマー投	1	鈴木 香織	44m62
	2	星野 千恵	40m72
七種競技	1	山口 真未	4837点
10km	1	黒澤 夏楠	34.45
	2	木村 世奈	38.11
ハーフマラソン	1	黒澤 夏楠	1:14.06
フルマラソン	1	辻 はるか	4:47.18
	2	林田 麻由	4:59.35
	3	小島恵梨香	5:41.24

対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第 27 回国公立 22 大学対校陸上競技大会 (男子総合 4 位・女子総合 1 位)						
1	東京学芸大	横浜国立大	横浜国立大	茨城	都留文大	茨城
2	横浜国立大	東京学芸大	東京学芸大	都留文大	東京学芸大	横浜国立大
3	茨城大	静岡大	茨城	東京学芸大	茨城	東京学芸大
第 63 回北関東五大学対校陸上競技大会 (男子総合 2 位・女子総合 1 位)						
1	群馬大	茨城大	群馬大	茨城大	茨城大	茨城大
2	茨城大	埼玉大	茨城大	宇都宮大	宇都宮大	埼玉大
3	埼玉大	群馬大	埼玉大	埼玉大	埼玉大	宇都宮大
第 67 回三浜駅伝競走大会 一般男子の部 【1 部】 (茨大 4 位)						
1	我流AC					
2	美野里クラブ					
3	那須塩原市 陸協					
第 13 回荒川河川敷対校駅伝競走大会 (茨大 24 位)						
1	東京工業大					
2	学習院大					
3	文教大学					
第 10 回国公立 22 大学対校駅伝競走大会 (茨大 3 位)						
1				東京学芸大		
2				都留文大		
3				茨城大学		



伊藤(表彰)



1 年次

関東インカレ

VIII. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	鈴木 麻理	水戸第三/茨城	短距離	教育/保健体育
院2	滑川 智登	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/保健体育
院1	遠藤 園子	利府/宮城	跳躍	教育/保健体育
院1	松村 俊	緑岡/茨城	短距離	工/電気電子
4年	青柳 達也	佐原/千葉	跳躍	理/物理
4年	浅川 瞭	伊奈/茨城	中長距離	人文/社会
4年	小島恵梨香	牛久/茨城	短距離	教育/健康
4年	久保 美春	松阪/三重	短距離	工/都市システム
4年	栗原 航介	石橋/栃木	跳躍	工/都市システム
4年	逆井 智也	春日部/埼玉	跳躍	教育/スポーツ
4年	鈴木 香織	水戸第二/茨城	投擲	教育/健康
4年	辻 はるか	高松第一/香川	投擲	教育/スポーツ
4年	富井 一仁	常葉菊川/静岡	中長距離	教育/社会
4年	南部 智彦	矢板東/栃木	短距離	人文/社会
4年	林田 麻由	鹿島/茨城	跳躍	教育/健康
4年	ホソ テ ウェン	竜ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/スポーツ
4年	堀越 成志	茨城キリスト/茨城	跳躍	工/機械
4年	吉原 友理	下妻第一/茨城	跳躍	教育/国語
3年	石津美阿里	波崎柳川/茨城	マネージャー	教育/養護教諭
3年	伊藤 太一	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/保健体育
3年	加藤 俊介	日立第一/茨城	中長距離	教育/スポーツ
3年	川部 優太	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	工/都市システム
3年	木村 世奈	太田第一/茨城	中長距離	教育/心理
3年	黒澤 夏楠	茨城キリスト/茨城	中長距離	教育/健康
3年	小林 朋寛	旭川西/北海道	投擲	教育/スポーツ
3年	齋藤 圭介	水戸桜ノ牧/茨城	中長距離	人文/社会
3年	柴 俊博	下妻第一/茨城	短距離	教育/理科
3年	城石 俊朗	富山南/富山	中長距離	理/物理
3年	宮岡 仁美	水戸第一/茨城	マネージャー	教育/養護教諭
3年	肥田埜里枝	竜ヶ崎第一/茨城	短距離	教育/数学
3年	星野 千恵	竜ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/保健体育
3年	山口 真未	聖徳/茨城	混成	教育/健康
3年	山屋 瑛美	緑岡/茨城	短距離	教育/社会
2年	大貫 綾子	日立第一/茨城	中長距離	教育/保健体育
2年	金田 祐輔	日立第一/茨城	中長距離	工/都市システム
2年	酒井くるみ	土浦日大/茨城	短距離	教育/環境
2年	萩野谷安己帆	佐和/茨城	マネージャー	人文/社会
2年	星 耕平	会津/福島	短距離	人文/社会
2年	本岡 理彦	新発田/新潟	短距離	工/電気電子
2年	谷貝 脩平	緑岡/茨城	短距離	人文/社会
2年	安田 萌	竜ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/保健体育
1年	荒井 啓輔	竜ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/保健体育
1年	伊藤林大郎	山形東/山形	短距離	教育/保健体育
1年	沖崎 一也	埼玉栄/埼玉	跳躍	工/都市システム
1年	佐々木一樹	葵陵/茨城	長距離	工/生体分子
1年	猿田 康陽	太田第一/茨城	短距離	工/マテリアル工学
1年	永瀬麻梨凜	並木/茨城	長距離	教育/健康
1年	平沼 清一	鉾田第一/茨城	短距離	教育/技術
1年	福田 智仁	太田第一/茨城	短距離	人文/人コミ
1年	村山 靖真	竜ヶ崎第一/茨城	短距離	人文/社会
1年	加藤 佑実	茨城キリスト/茨城	短距離	教育/健康
1年	杉浦ちはる	豊島学院/東京	短距離	教育/健康
1年	島山 明子	富士/静岡	短距離	教育/養護教諭
1年	山内 裕香	聖徳/茨城	跳躍	教育/スポーツ

編集後記

まず始めに、部誌の発行にご協力いただいた皆さんに感謝を申し上げます。おかげさまで今年度も無事に部誌を発行することができました。

さて、2012年度を振り返りますと、日本学生陸上競技対校選手権大会において、女子三段跳で遠藤が見事に優勝、女子七種競技で山口が8位入賞を果たしました。その他の対校戦でもよい結果を得ることができました。

来年度も皆様により報告ができますように、部員一丸となって日々練習に励んでいきたいと思っております。(文責：谷貝脩平)

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandclub/>

顧問 上地 勝

〒310 - 8512 水戸市文京 2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町 979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第7号

平成 25 年 3 月 26 日発行

編集責任者

谷貝脩平・安田萌

発行者 茨城大学陸上競技部